

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	・太陽の花あずま		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 17日	～	2025/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童が安心して毎日利用したいという環境作りを重点において支援している。その為、太陽の花あずまに行きたくないという児童はいません。毎日利用を楽しみにしてくれています。	・毎月1度買い物学習を行い、将来社会に出た時に自立できるよう、買い物経験学習を実施している。定期的に学習することでセルフレジの使い方を習得出来てきている。又困った時に店員さんに助けを求められるよう、職員が仲に入り子ども自身で店員さんに声を掛ける練習もしている。	・地域交流が少ないので今後は大学や専門学校の学生と交流をもち、集団活動の内容の幅を広げていきたい。又保育園や児童館 学童保育の児童と交流を深め人間関係、社会性の向上に繋げていきたい。
2	・専門的職員を配置して、利用児童1人ひとりの支援が必要な事を分析して、職員全体で個別サポートしている。担当制ではなく、様々な職員を配置して支援する事で偏りにない療育を提供できている。	・帰りの会で楽しかった事を1人ずつ聞きみんなの前で発言する機会を作っている。社会に出た時に必要なコミュニケーション能力を養っている。	・保護者交流はしているが、きょうだいとの交流がない為今後交流する機会を作っていく。夏祭りやクリスマス会にきょうだいを招待して開催予定。
3	・本人支援 保護者のニーズを第一優先に支援しているので満足していただいていると思う。又常に保護者に寄り添い営業時間外も悩みや相談があれば電話やメールで相談にのっている。	・日々の活動内容を写真付きで掲示して、保護者にどんな様子か目で見て確認できるよう配慮している。保護者にも評判がよく8割近い保護者が既読になり、目を通して貰っている。	・就労支援施設と連携を図り、交流を深める事で将来の就職の選択枠が広がるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の周りが畑等なく、野菜や花等育てられないので子供たちに就労体験を実施する事ができない。今後近隣で畑を借りたい。	・施設の立地条件の問題です。	・近隣住民と交流をもち。
2	・		
3			